

(4) 知的障害養護学校(高等部)

(様式1)

# フェイスシート

(作成日：平成17年 月 日 学年：高等部生活 科2年)

● 氏名・住所等

|                                 |                      |  |                 |                   |  |             |
|---------------------------------|----------------------|--|-----------------|-------------------|--|-------------|
| 本人                              | ふりがな                 | たなか じろう                                | 性別              | 生年月日 平成 1年 9月 1日生 |  |             |
|                                 | 氏名                   | 田中 二郎                                  | 男               | 電話番号 - -          |  |             |
|                                 | 住所                   | 〒 000 - 0000 市.....                    |                 |                   |  |             |
|                                 | 入所施設                 | <input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有 |                 |                   |  |             |
|                                 | 主障害                  | 知的障害                                   | 他の障害            | 膝関節半月板損傷、強迫性神経症   |  |             |
|                                 | 診断名                  | 自閉症                                    | 療育手帳            | B                 | ( H14.12.1交付 )                         |             |
|                                 | 身障手帳                 | ( . . 交付 )                             | 精神障害者<br>保健福祉手帳 | ( . . 交付 )        |  |             |
| 保護者                             | 氏名                   | 田中 五郎                                  | 緊急連絡先           | 自宅<br>携帯<br>(札幌)  | -<br>-<br>-                            | -<br>-<br>- |
|                                 | 住所                   | 〒 000 - 0000 市.....                    |                 |                   |  |             |
| 家族構成                            | 家族構成図                |  | 氏名              | 生年・学年             | 続柄                                     |             |
|                                 | 【例】                  |  | 田中 太郎           | S 1 0             | 祖父(坊)                                  |             |
|                                 | 太郎 (別居)      花代 (別居) |  | 田中 花代           | S 1 3             | 祖母(坊)                                  |             |
|                                 | 五郎      花子           |  | 田中 五郎           | S 3 3             | 父                                      |             |
|                                 |                      |  | 田中 花子           | S 3 5             | 母                                      |             |
|                                 |                      |  | 田中 一郎           | 高2                | 長男                                     |             |
|                                 |                      |  | 田中 二郎           | 高等養護 1年           | 本人(甥)                                  |             |
|                                 |                      |  | 田中 一子           | 中2                | 長女                                     |             |
| (出生地 市)      一郎      二郎      一子 |                      |  |                 |                   |  |             |
| 在籍校                             | 学校名                  | 北海道 高等養護学校                             |                 | 担当教諭              |  |             |
|                                 | 住所                   | 〒 000 - 0000 市.....                    |                 | 電話番号              | TEL - -                                | FAX - -     |
|                                 |                      |  |                 | 寄宿舎入舎             | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |             |

● 妊娠・出産・発育の様子

|                  |  |  |       |   |   |
|------------------|--|--|-------|---|---|
| 胎<br>生<br>期      | 妊娠中の母親の健康状態： <input checked="" type="radio"/> 良・他<br>妊娠中の病気等： <input checked="" type="radio"/> 無・有(病名)<br>薬の服用状況： <input checked="" type="radio"/> 無・有                 |  |       | ・ 妊娠期に気になったこと<br><br>特になし                             |   |
| 出<br>生<br>期      | 妊娠期間   | 40週  | 出生体重  | 3650g   | ・ 医師の診断や出産時に気になったこと<br><br>・ 軽度の黄疸があった。<br>・ 上記以外は正常な出産だったため、医師からの特別な指摘、診断等は全くなかった。 |
|                  | 分娩   | <input checked="" type="radio"/> 普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他  |       |   |   |
|                  | 様子   | <input checked="" type="radio"/> 普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他 |       |   |   |
|                  | 泣き方  | <input checked="" type="radio"/> 良好・他 (A P S)        |       |   |   |
|                  | 黄疸   | 普通 <input checked="" type="radio"/> 軽・重              | 保育器使用 | <input checked="" type="radio"/> 無・有(日)               |   |
| 乳<br>幼<br>児<br>期 | 首の座り (4か月) はいはい (10か月)<br>一人歩き (1歳0か月) 人見知り (5歳1か月)<br>指差し (2歳10か月) 片言を言う (2歳7か月)<br>おしっこやうんちを予告する (2歳4か月)<br>一人でおしっこ(2歳9か月)・うんち(2歳9か月)<br>トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える(4歳6か月) |  |       | ・ 乳児期、幼児期に気になったこと<br>・ 始語が遅かった。<br>・ 何かを要求する言動が少なかった。 |   |

● 療育・教育の状況

|     |     |               |   |
|-----|-----|---------------|---|
| 幼児期 | 幼稚園 | 市母子通園センター     | ・ 備考(就学の変更等)<br><br>・ 小学校高学年から、興味・関心の狭さや、課題となる行動が多くみられるようになってきたため、中学校入学時に情緒障害特殊学級に入級した。 |
| 小学校 | 市立  | 小学校(通常の学級)    |   |
| 中学校 | 市立  | 中学校(情緒障害特殊学級) |   |
| 高校  | 北海道 | 高等養護学校        |   |

● 医療にかかわる特記事項

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学2年の時に、精神科を受診し、自閉症及び強迫性神経症と診断され、パキシルを処方されたが、興奮しやすい状態になり、2か月ほど服用し、16年7月に服用中止した。一方で、課題となる行動が多くなってきたため、リスパダールを処方されている。</li> <li>・ 喘息があるため、風邪をひくと咳が出やすい。</li> <li>・ 半月板損傷(中学校2年時)の治療により、膝に負荷のかかる激しい運動は不可。運動不足により肥満である。(178cm、98kg)</li> </ul> |
|---|

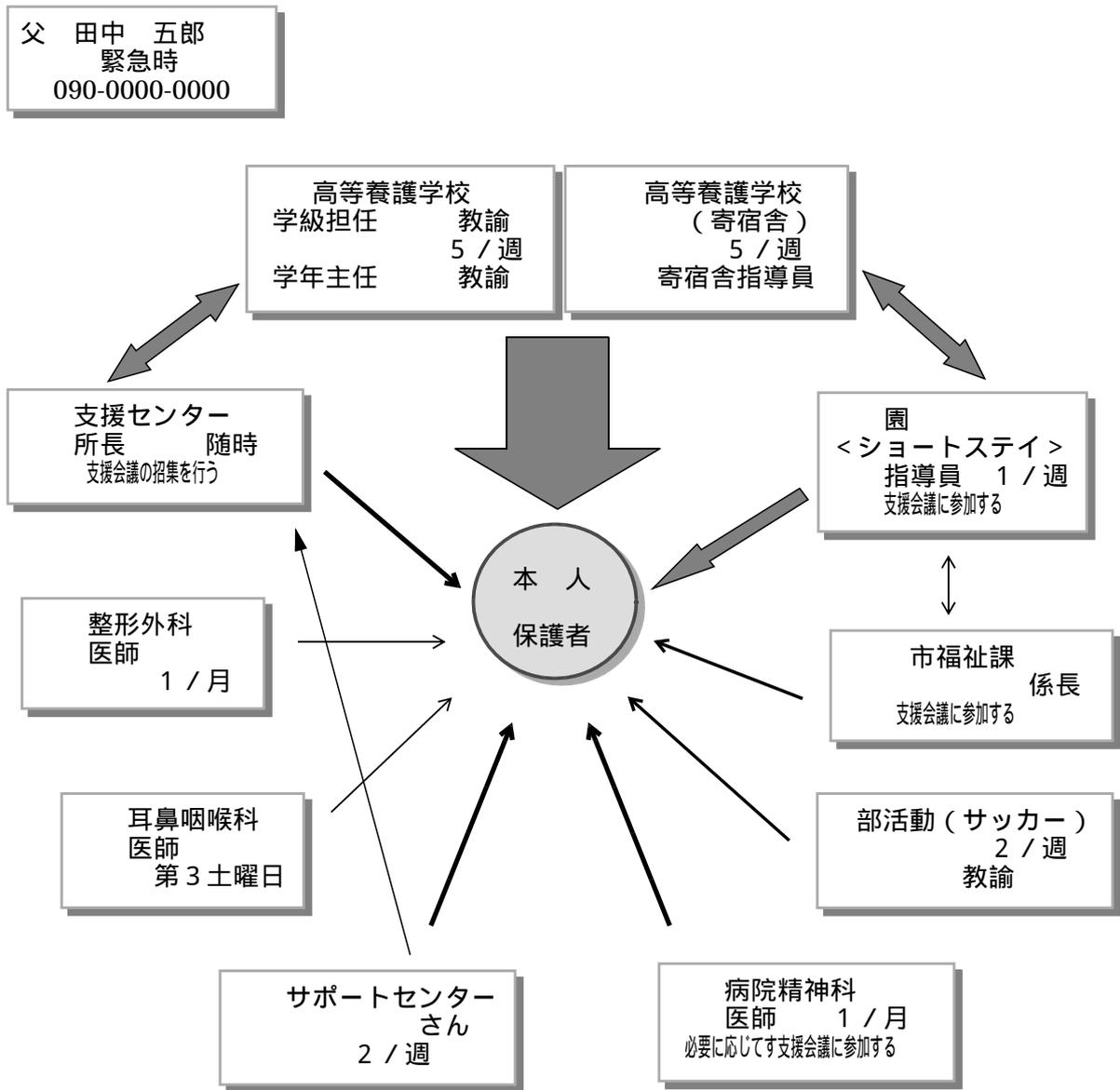
● 特記すべき生育歴及びその他の事項

|  |
|--|
|  |
|--|

## ● 特徴

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやテレビゲームに、強い関心がある。</li> <li>・ ゲームボーイを購入してから、ゲームへの関心が更に強まった。</li> <li>・ 興味・関心のあることであれば、集中して学習できる。</li> <li>・ 話し合いや視覚からの情報で、本人が今後の活動の見通しが持てると集中して学習ができる。</li> </ul>  |
| 苦手なこと、嫌いなこと、避けなければならぬこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 突然の日課変更はパニックになるので避ける。</li> <li>・ 強制的な言葉に敏感に反応し、パニックを起こす。</li> <li>・ 言葉での意思表示が苦手である。</li> </ul>   |
| 身辺処理及び生活習慣              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石けんを利用した洗顔はできないが、手洗い等の衛生面は自立している。</li> <li>・ 着脱、入浴は自立しているが、時間がかかる。</li> <li>・ TPOに合わせた服装ができない。</li> <li>・ 時折、失禁がある。(服薬の副作用)</li> <li>・ 食事は一人で食べることができるが、時間がかかる。</li> <li>・ 歯磨き等は声かけが必要である。</li> <li>・ 生活は、昼夜逆転することがある。</li> </ul>  |
| 健康の保持                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児喘息だったため風邪をひくと咳が止まらない。</li> <li>・ 膝関節半月板損傷により、現在も運動制限があり、また肥満傾向である。</li> </ul>  |
| 心理的な安定                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予想をしていないことが突然起きるとパニックになる。</li> <li>・ 強制的な言葉に敏感に反応し、パニック(人をたたくこともある)になる。</li> <li>・ 強迫性神経症である。</li> </ul>   |
| 環境の把握                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に慣れるまでに時間がかかる。</li> <li>・ 一度見た物は、忘れない。</li> <li>・ 興味・関心の幅が狭い。(ゲームや家電製品へのこだわり)</li> <li>・ 場に適した音量で話すことや、場に適した言葉遣いが苦手である。</li> </ul>   |
| 身体の動き                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者の演示を模倣できるが、正確な動きができるまでには時間がかかる。</li> <li>・ 体育(球技)など集団競技のルールを理解が苦手である。</li> <li>・ 舌の動きに軽い麻痺がある。</li> <li>・ 持続的な運動はできるが、瞬発的な動きは苦手である。</li> <li>・ 肥満のため動作が緩慢である。</li> <li>・ 半月板損傷のため激しい運動の制限がある。</li> </ul>  |
| コミュニケーション               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分から発言することは少ないが、簡単な質問に答えることができる。</li> <li>・ 語い数が少ないため、自分の考えを上手に表現することができない。</li> <li>・ 独り言を言う。</li> <li>・ 特定の指導者と少ない言葉で会話ができる。</li> <li>・ 生徒同士のかかわりは、物による関係が中心である。興味のあることであれば物を通して関係を持つことができる。</li> <li>・ 場に応じた言葉遣いが苦手で、自分の考えを一方向的に話す。</li> <li>・ 対人関係において自分の考えを押し通そうとする。</li> </ul> |
| 諸検査の結果                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IQ (田中ビネー検査、 年 月学校にて実施)</li> </ul>   |

● 支援マップ



☐ 支援者 (機関) 等

【凡例】

- : 支援や連携の方向性を表す。
- ➡ : 支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

部活動は本校で週2回行っている。土・日曜日の大会に参加する場合、週末は寄宿舎で過ごす。

(様式2)

# 週間生活スケジュール

【例】

氏名( 田 中 一 郎 )

| 時間 \ 曜日 | 月        | 火            | 水          | 木       | 金         | 土       | 日     |
|---------|----------|--------------|------------|---------|-----------|---------|-------|
| :       |          | 昼夜逆転することがある。 |            |         |           |         |       |
| 6:30    | 起床       | 起床           | 起床         | 起床      | 起床        | 起床      | 起床    |
|         | 洗面・歯磨き   | 洗面・歯磨き       | 洗面・歯磨き     | 洗面・歯磨き  | 洗面・歯磨き    |         |       |
| 8:00    | 朝食・登校準備  | 朝食・登校準備      | 朝食・登校準備    | 朝食・登校準備 | 朝食・登校準備   |         |       |
| 9:00    | 学校       | 学校           | 学校         | 学校      | 学校        | 利用プログラム | 家族と活動 |
| 10:00   |          |              |            |         |           |         |       |
| 12:00   |          |              |            |         |           |         |       |
| 14:00   |          |              |            |         | 寄宿舍       |         |       |
|         | ↓        | ↓            | ↓          | ↓       | ↓         |         |       |
| 16:00   | 寄宿舍      | 寄宿舍          | 寄宿舍        | 寄宿舍     | ショートステイ先へ | 自宅へ     |       |
|         | 部活・洗濯    | 入浴・洗濯        | 部活・洗濯・自由時間 | 入浴・洗濯   |           | テレビ・ゲーム | 学校    |
| 18:00   | 夕食       | 夕食           | 夕食         | 夕食      | 夕食        | 夕食      | 夕食    |
|         | 清掃・自由時間  | 清掃・自由時間      | 清掃・自由時間    | 清掃・自由時間 |           | テレビ・ゲーム | 自由時間  |
| 20:00   | ついで・就寝準備 | 就寝準備         | 就寝準備       | 就寝準備    |           |         | 就寝準備  |
| 21:30   | 就寝       | 就寝           | 就寝         | 就寝      | 就寝準備      | 就寝準備    | 就寝    |
| 22:00   |          |              |            |         | 就寝        | 就寝      |       |
| 24:00   |          |              |            |         |           |         |       |
| :       |          |              |            |         |           |         |       |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 週・月・年単位など定期的なスケジュール | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3土曜日は耳鼻咽喉科通院</li> <li>・ 週1回、自宅へ帰省</li> <li>・ 週1回、ショートステイで 園を利用</li> <li>・ 月1回、センターへ通院</li> <li>・ 月1回、整形外科へ通院</li> </ul> |
|---------------------|---|

|     |   |
|-----|---|
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅に母や祖父母が不在の時は 町にいる祖父母(母方)の家で過ごす。</li> <li>・ ショートステイでのプログラムは、本人との話し合いで決定する。</li> </ul> |
|-----|---|

# 個別の教育支援計画

|     |      |     |                    |     |            |
|-----|------|-----|--------------------|-----|------------|
| 氏名  | 田中二郎 | 性別  | 男                  | 学校名 | 北海道 高等養護学校 |
| 作成者 | 担任   | 作成日 | 平成 年 月 日 ( . . 修正) |     |            |

## ● 本人・保護者の希望

|     | 現在の希望   | 将来の希望   |
|-----|---|---|
| 本人  | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週末、自宅で過ごし、ゲームをしたい。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>家の近郊にある 園に就職（施設利用）してお金をもらい、ゲームやテレビなどの家電製品を買いたい。</li> </ul> |
| 保護者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人の精神が安定した状態で、家庭で過ごすことができ、家族の団らんがもてるようにしたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉的就労し、グループホームで生活してほしい。</li> </ul>                         |

## ● 課題の設定の理由

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションが十分にとれる特定の指導者に対しては、本人の持てる語いを十分に活用して会話を楽しむことができるが、家庭や級友とは物を通してのコミュニケーションが中心であり、コミュニケーションの基になる人間関係の成立が難しい状況にある。また、意志の伝達や抽象的な表現の理解が難しい。このようなことから、相手に分かる言葉で接することが大切であると考え。したがって、現在、コミュニケーションが十分にとれる特定の指導者との会話によるコミュニケーションの指導を中心とし、そのほかにも人間関係の幅を広げながら、コミュニケーションスキルの指導を進める必要がある。</li> <li>中学校までは、学校での学習内容の理解が難しく、対人関係もうまくとれず、そのストレスが、家庭でのパニックや他傷として現れていた。そのため、日常生活全般において、指導の一貫性を図り、ストレスや不安を取り除き、安心して学習や生活に取り組むことができるようにする必要がある。また、中学までは、興味・関心の狭さ（こだわり）から、家庭ではテレビやゲームなどに深夜まで没頭し、登校できない、遅刻する等、生活リズムが乱れた状況であった。家庭では他傷があるので、しばらくの間は寄宿舎や福祉施設において生活リズムを整える必要がある。</li> <li>不安やストレスから、二次的な精神疾患を併せ持っているため、医療との連携が必要である。</li> <li>運動制限による運動経験不足のため、無理のない運動を通して体重をコントロールするとともに、体力の向上を図る必要がある。また、肥満のため栄養管理が必要である。</li> <li>本人、保護者共に福祉的就労を希望しており、作業学習や現場実習を通して、実践的な経験を積み重ねることにより働く力を身に付けることが必要である。</li> </ul> |
|--|

● 課題・支援の目標

|  | 課 題   | 支 援 の 目 標 ( 長 期 )  |
|--|---|--|
|  | 人間関係の幅を広げ、コミュニケーションスキルを高めることが必要である。   | いろいろな人たちと接する機会を多くし、人間関係の幅を広めることにより、コミュニケーションスキルを高める。   |
|  | 生活におけるストレスや不安を取り除き、見通しをもち安心できる環境を用意することにより、学習や活動への積極的な参加を促すとともに、寄宿舎や家庭における生活のリズムの安定化を図る必要がある。 | 学校、寄宿舎、家庭、福祉施設が連携し、指導の一貫性を図ることにより、不安やストレスを軽減し、積極的な学習活動を促すとともに、基本的な生活リズムを確立し、将来の社会自立（グループホームでの生活）に向けた生活習慣を養う。 |
|  | 医療と連携し、二次的な疾病の症状改善を図ることが必要である。  | 医学的治療（服薬等）により症状を緩和するとともに、医師の指導に基づき症状に対して教育的に配慮することで症状の改善を図る。   |
|  | 健康に働く生活、家庭生活を営むための体力を高める必要がある。（肥満対策も含む）   | 医師の診断に基づき膝関節に配慮しながら、学習活動の中で身体を動かす機会を徐々に増やし、1日を通して活動ができる体力を養う。（給食による栄養管理も含む）                                  |
|  | 卒業後の働く生活に向け、自ら進んで働く力を高める必要がある。  | 作業学習や現場実習を通して、働くことに興味を持ち、自ら取り組もうとする知識・態度・習慣を育てる。   |
|  |   |  |
|  | 評 価   |  |
|  |   |  |

● 支援内容・機関等

| 支援の目標(短期)                           | 支援内容   | 支援機関・連絡先                                   | 評価時期                              | 評価 |
|-------------------------------------|--|--|-----------------------------------|----|
| 学校の日常的な生活場面で、様々な人とかわることができる。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な表現を避け、簡潔かつ明瞭な言葉で声かけする。</li> </ul>   | 高等養護学校<br>学校<br>寄宿舍<br>☎ -                 | 学校の評価時期10月、3月に評価する。               |    |
| 見通しを持った生活を送ることができる。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日課表や日課の提示の仕方を工夫し、常に自ら確認しながら行動ができるようにする。</li> </ul>  | 高等養護学校及び寄宿舍<br>学校担当<br>寄宿舍担当               | 毎月<br>他機関とは不定期<br>寄宿舍とは随時         |    |
|                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や寄宿舍等における活動の状況を踏まえて、医師と連携を図り、服薬による行動の改善を図る。</li> </ul>  | ☎ -<br>病院<br>担当 医師<br>☎ -                  | 服薬(毎日)<br>連絡は保護者を通して毎月の通院時        |    |
|                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週、ショートステイを利用し、学校や寄宿舍の生活リズムを崩さず、余暇時間をゲーム以外で楽しむことができるようにする。</li> </ul>                               | 園<br>担当<br>☎ -                             | 毎週                                |    |
| 基礎体力を付けるとともに、運動を続けることができる。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>全教育活動の中で体を動かす機会を多くし、体力を養う。</li> <li>週2回の部活に参加する。</li> <li>給食指導において、栄養管理を行う。</li> </ul>              | 高等養護学校<br>担当<br>部活担当<br>体育担当<br>栄養士<br>☎ - | 学校の評価時期10月、3月に評価する。               |    |
|                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な運動内容についてメール等で適宜情報交換をする。</li> </ul>   | 整形外科<br>医師<br>☎ -                          | 適宜                                |    |
| 卒業後の福祉的就労に向け、自ら働くための知識・態度・習慣を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業学習で工程の提示の仕方を工夫したり、補助具を利用することで働く環境を整え、自ら働く前向きな姿勢を養う。</li> <li>様々な環境で働く経験を積むことで、働く力を育てる。</li> </ul> | 高等養護学校<br>担当<br>☎ -                        | 学校の評価時期10月、3月に評価する。<br>・終了後に評価する。 |    |

● 支援者(機関)の連携

| 項目(会議等)    | 連携機関(担当者)                              | 内 容  | 備 考  |
|------------|--|--|--|
| 期 日        | コーディネーター                               |  |  |
| 第1回支援会議    | 市福祉課、<br>園、出身中学校、<br>本校、支援セ<br>ンター、保護者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題となる行動の共通理解と連携について確認し合う。</li> <li>・ 各機関の支援内容について確認し合う。</li> <li>・ 個別の支援計画作成のためのアセスメントを行う。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療との接点ができしだい次回開催</li> </ul> |
| 平成17年3月3日  | 支援センター<br>( 所長 )                       |  |  |
| 第2回支援会議    | 市 福祉課、<br>園、本校、<br>支援センター、<br>医師、保護者   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題となる行動に対する医療の見解を共通理解する。</li> <li>・ 服薬量を適切に調整するため、学校における様子について、医師と連携を図る。</li> <li>・ 個別の支援計画の内容を検討する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬調整及び様子観察、記録</li> </ul>     |
| 平成17年4月7日  | 支援センター<br>( 所長 )                       |  |  |
| 第3回支援会議    | 市福祉課、<br>園、本校、<br>支援センター、保<br>護者       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連休の支援体制確認。</li> <li>・ 長期休業中及び毎週、施設利用がきるよう居宅サービス受給者証の交付を行う。</li> </ul>   |  |
| 平成17年4月20日 | 学年主任( )                                |  |  |
|            |  |  |  |

(様式4)

# 相談・支援の記録

氏名( 田 中 二 郎 )

| 項 目  | 時期・期間                 | 内 容 ・ 結 果   | 担 当  |
|--|-----------------------|---|------|
| 相談・支援機関等                                     |                       |   |      |
| ・ 発達と言葉の遅れ<br>-----<br>母子通園センター              | 平成4年4月<br>~<br>平成5年3月 | ・ 3歳児検診の際に発達の遅れについて指摘され、早期療育が必要。園では、言語やコミュニケーションの指導が中心  | 氏    |
| ・ 就学について<br>-----<br>教育センター                  | 平成6年<br>4月20日         | ・ 小学校入学にあたり、発達の状態に応じた就学の場について相談。コミュニケーションスキルを身に付けるため、通常学級が本人にとって最適と助言を受ける。                          | 相談員  |
| ・ 就学について<br>-----<br>市就学指導委員会                | 平成7年<br>8月20日         | ・ 同 上   | 委員   |
| ・ 就学について<br>-----<br>市就学指導委員会                | 平成13年<br>7月10日        | ・ 中学校入学にあたり、発達の状態に応じた就学の場について相談。自閉症、知的障害について個別の指導が必要。情緒学級が本人にとって最適と助言を受ける。                          | 委員   |
| ・ 療育手帳の申請<br>-----<br>市福祉課                   | 平成14年<br>11月1日        | ・ 療育手帳交付申請相談・手続<br>(障害判定Bで交付)   | 係長   |
| ・ 療育手帳の申請<br>-----<br>児童相談所                  | 平成14年<br>12月1日        | ・ 障害判定B<br>・ 自閉症や知的発達の状態に配慮した教育内容や環境の整備が必要。   | 相談員  |
| ・ こだわりや二次的疾患<br>に対する対応<br>-----<br>病院        | 平成14年<br>5月10日~<br>現在 | ・ こだわりの内容によっては良い部分であるので、指導に役立てることが大切と助言を受ける。(小学校時)<br>・ 鬱、強迫性神経症は投薬により症状の緩和。(中学校時)<br>・ 月1回の定期通院が必要 | 医師   |
| ・ 膝関節半月板損傷の治療<br>-----<br>整形外科               | 平成14年<br>8月1日~<br>現在  | ・ 膝関節半月板に先天的な奇形があること併せて、肥満による膝関節への負担から半月板を損傷。膝に配慮した適度な運動及び体重の減量が必要。<br>・ 月1回の定期通院が必要。               | 医師   |
| ・ 家庭での課題行動について<br>両親から相談<br>-----<br>市支援センター | 平成17年<br>3月1日         | ・ 障害特性や課題となる行動に対する支援会議が必要。(指導方法の統一)<br>・ 福祉サービスの利用の仕方や手続について助言を受ける。                                 | 所長   |
| ・ ショートステイの利用<br>-----<br>園(福祉施設)             | 平成17年<br>3月10日~<br>現在 | ・ パニックや他傷の関係から家庭生活が難しいため利用する。<br>・ 毎週土曜日に利用する。(生活リズムが整い次第、家庭生活へ。)                                   | 指導課長 |
| ・ ショートステイ先までの<br>移動介護<br>-----<br>サポートセンター   | 平成17年<br>4月10日~<br>現在 | ・ 保護者によるショートステイ先までの送迎が困難なため利用する。<br>(保護者の実費により利用)   | さん   |

\* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴